

CIR Insights Vol. 5

[東北大学生・教職員のための教育データレポート]

2018年春号 学生生活編

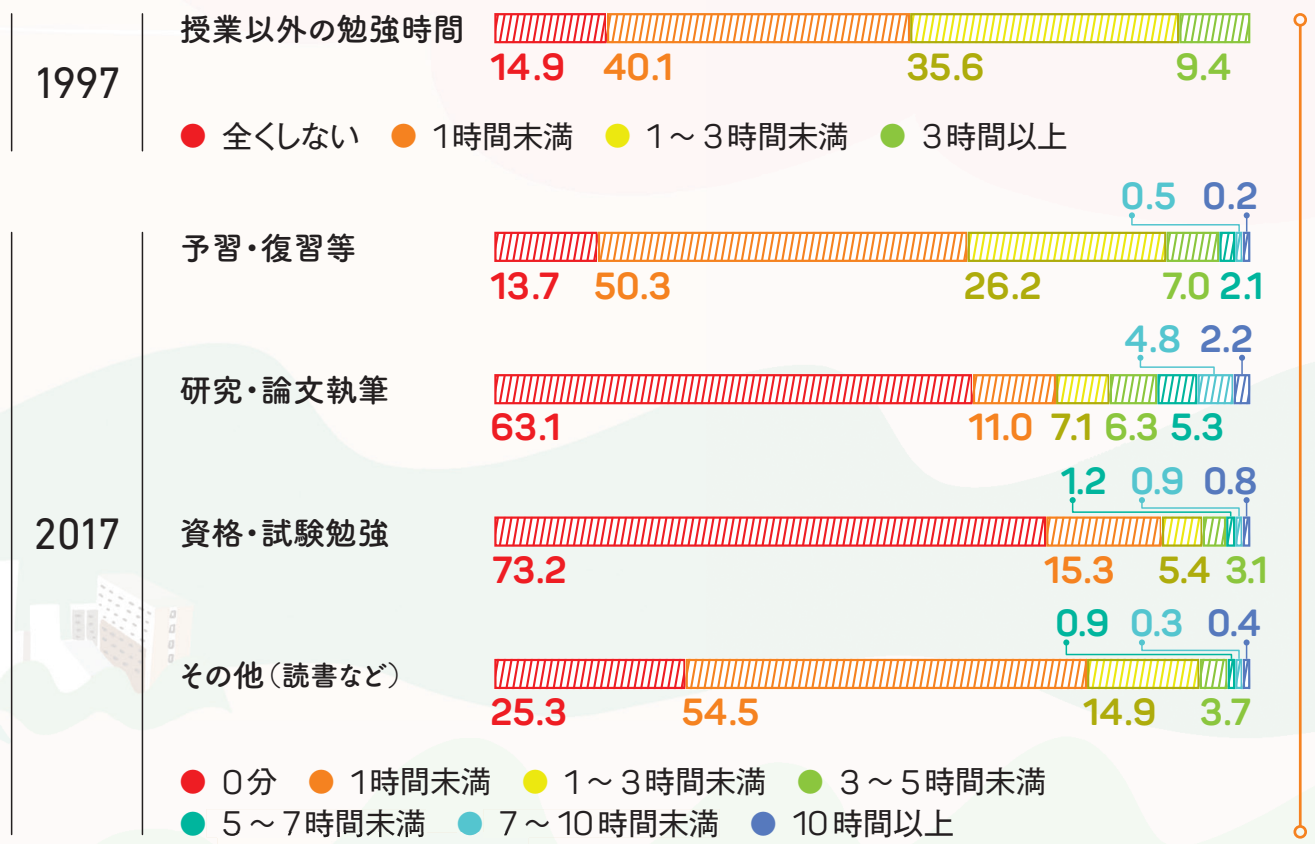
学生生活調査のデータを用いて、約20年前と現在の東北大学生の学生生活を比較しました。通学面では、2015年に開通した地下鉄東西線を利用する学生が多くなったためか、通学時間が増えています。他方、学習にかかる時間は、調査方法が異なるため正確な比較は難しいものの、授業以外の学習の長さはあまり変わっていないようです(ただ、2017年データからは、学年が進むと学習時間が増える傾向にあり、4年生は1日7時間以上学習していることがわかっています)。対照的に、悩みのある学生の増加にもかかわらず、大学生生活の満足度はずいぶん高まっています。あら不思議!

CIRとは?

教育評価分析センターのこと。東北大学における教育・学習活動の体系的なデータ収集・分析を行い、本学の教育マネジメントを支援する組織です。

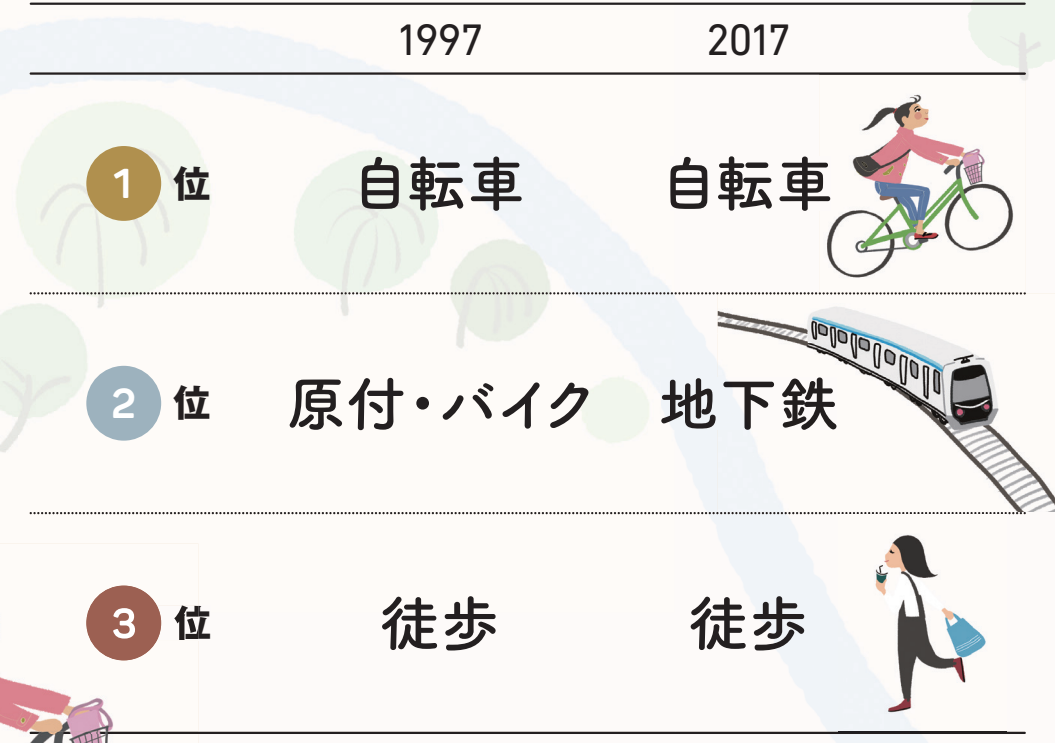
東北大学
高度教養教育・学生支援機構
教育評価分析センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41
Tel: 022-795-4961(DI)
Fax: 022-795-7669
E-mail: cir@ihe.tohoku.ac.jp
http://www.cir.ihe.tohoku.ac.jp



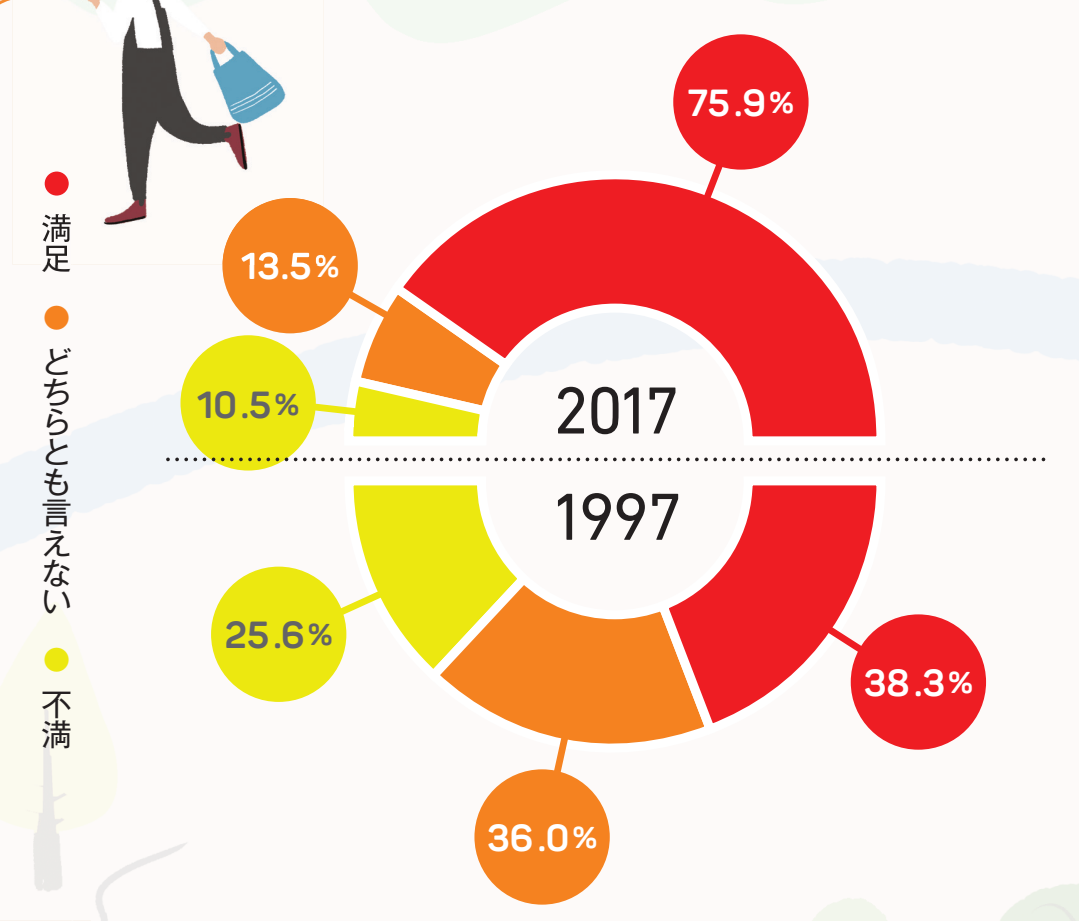
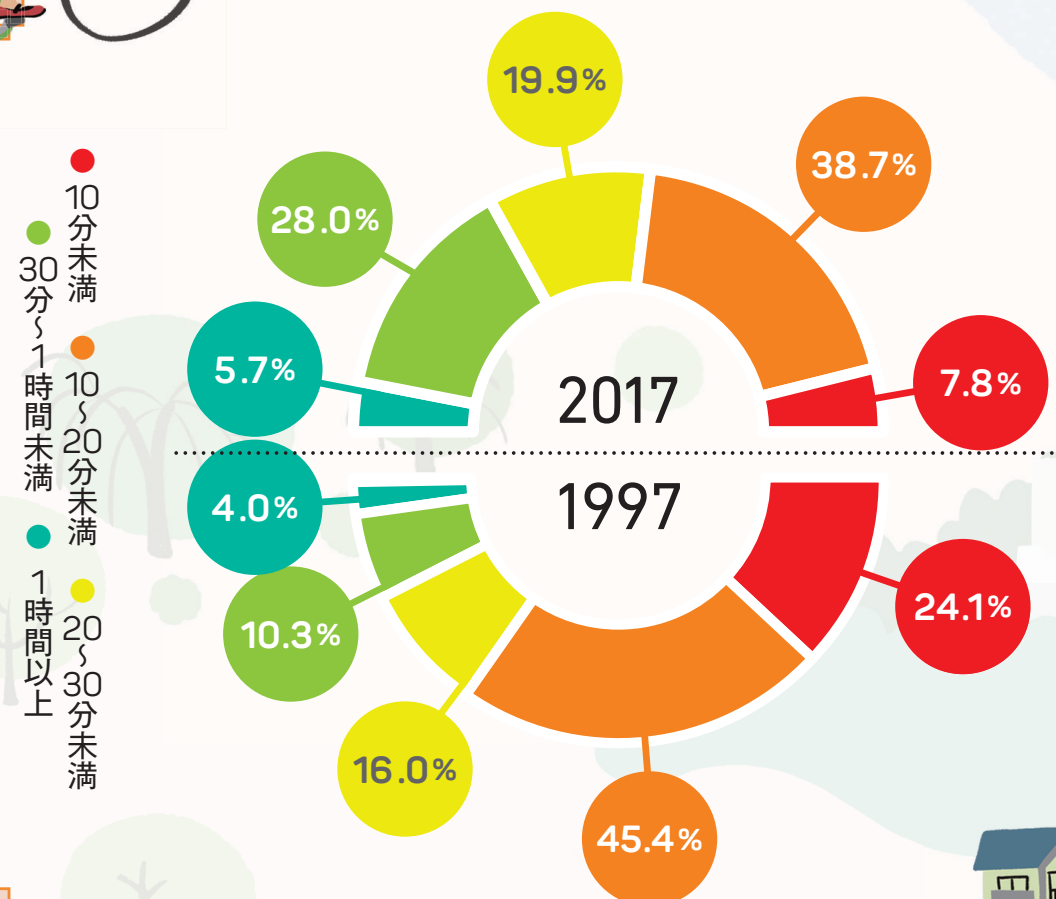
学習等にかけた時間(1日平均/%)

[通学手段TOP 3]

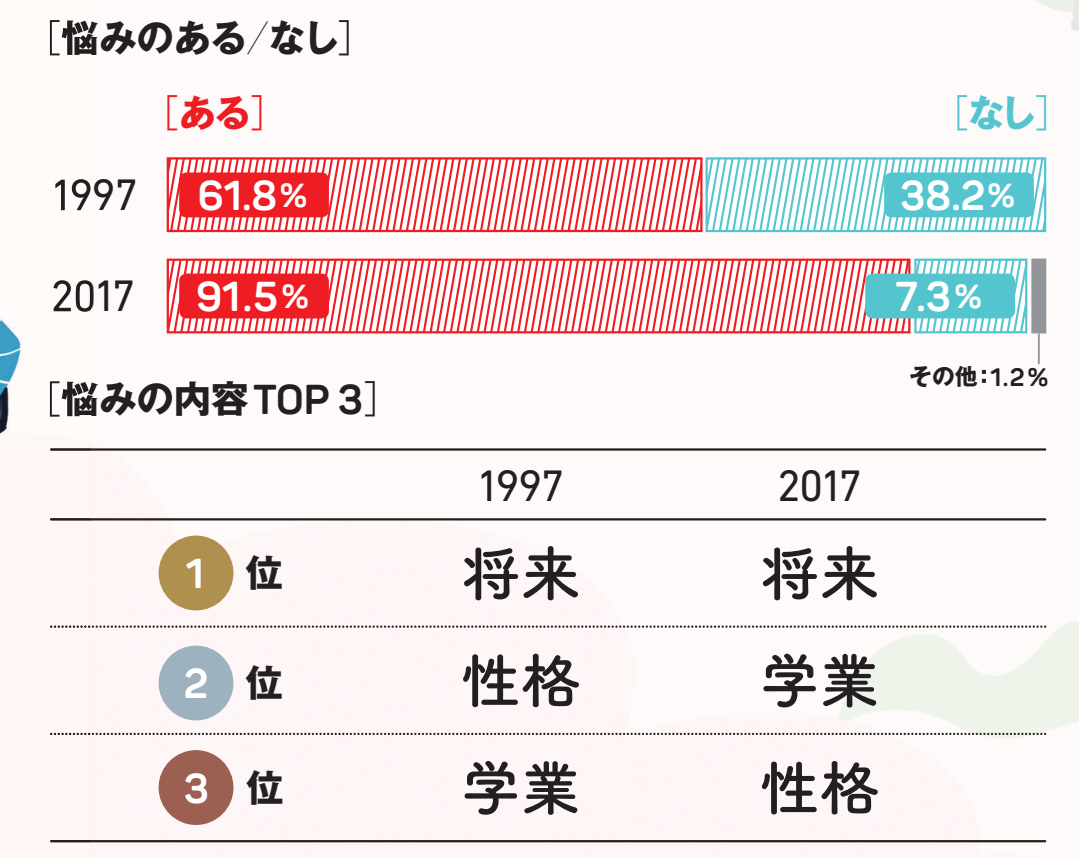


通学手段

通学時間



大学生生活の満足度



現在の悩み

	1997	2017
1位	将来	将来
2位	性格	学業
3位	学業	性格

【参照データ】2017年:「平成29年度東北大学生生活調査」のまとめ 東北大学生の生活(発行:東北大学生生活支援審議会、2018年) | 1997年:「第2回学生生活実態調査」(発行:東北大学学生部(東北大学生生活実態調査委員会)、1998年) *データは全て学部生だけの数値